

まちづくりファンド

平成31年3月18日
都 市 局
まちづくり推進課

ながとゆもと

長門湯本温泉エリア（山口県長門市）における

民間まちづくり事業を支援します。

～ 中国地方初！「長門湯本温泉まちづくりファンド」を設立 ～

民都機構は、山口銀行等との間で「長門湯本温泉まちづくりファンド」を設立しました。

同ファンドを通じて、室町時代以来約600年の歴史を持つ山口県長門市の長門湯本温泉エリアにおいて、観光客や住民の満足度を向上させる、新たな魅力を創出する民間まちづくり事業を資金面で支援し、地域の課題解決に貢献してまいります。

- 国土交通省と民都機構（一般財団法人民間都市開発推進機構）は、地域金融機関と連携して、一定のエリアをマネジメントしつつ、当該地域の課題解決に資するリノベーション等の民間まちづくり事業を連鎖的に進めるため、当該事業へ出資等を行う「マネジメント型まちづくりファンド支援事業」を平成29年度に開始しました。[資料1参照](#)
- この度、民都機構は山口銀行等との間で「長門湯本温泉まちづくりファンド」を設立し、同ファンドへの出資を行うことになりました。同ファンドでは、長門湯本温泉エリアにおける入浴施設、宿泊施設、飲食施設、物販施設等の整備・運営等によって、新たな魅力を創出し、観光客や住民の満足度を向上させる民間まちづくり事業を資金面で支援してまいります。
なお、中国地方におけるマネジメント型まちづくりファンドの造成は、本件が初めてとなります。また、地方銀行が造成主体となる初のマネジメント型まちづくりファンドとなります。[資料2参照](#)
- 山口県長門市は、全国の温泉街に関する豊富な知見を有する民間事業者と協働して「長門湯本温泉観光まちづくり計画」を策定し、全国トップ10に入る温泉地を目指しています。同ファンドの支援対象である長門湯本温泉エリアは、平成29年3月に国土交通省の「景観まちづくり刷新モデル地区」の指定を受け、景観の刷新を進めています。こうした取組と同ファンドによる支援の相乗効果により、より一層のまちの魅力向上が期待されます。



(イメージ)

<問い合わせ先>

国土交通省 都市局 まちづくり推進課 担当：松田（賢）、中川

電話：03-5253-8111(代表)(内線 32-532, 30-614) 03-5253-8127(直通)

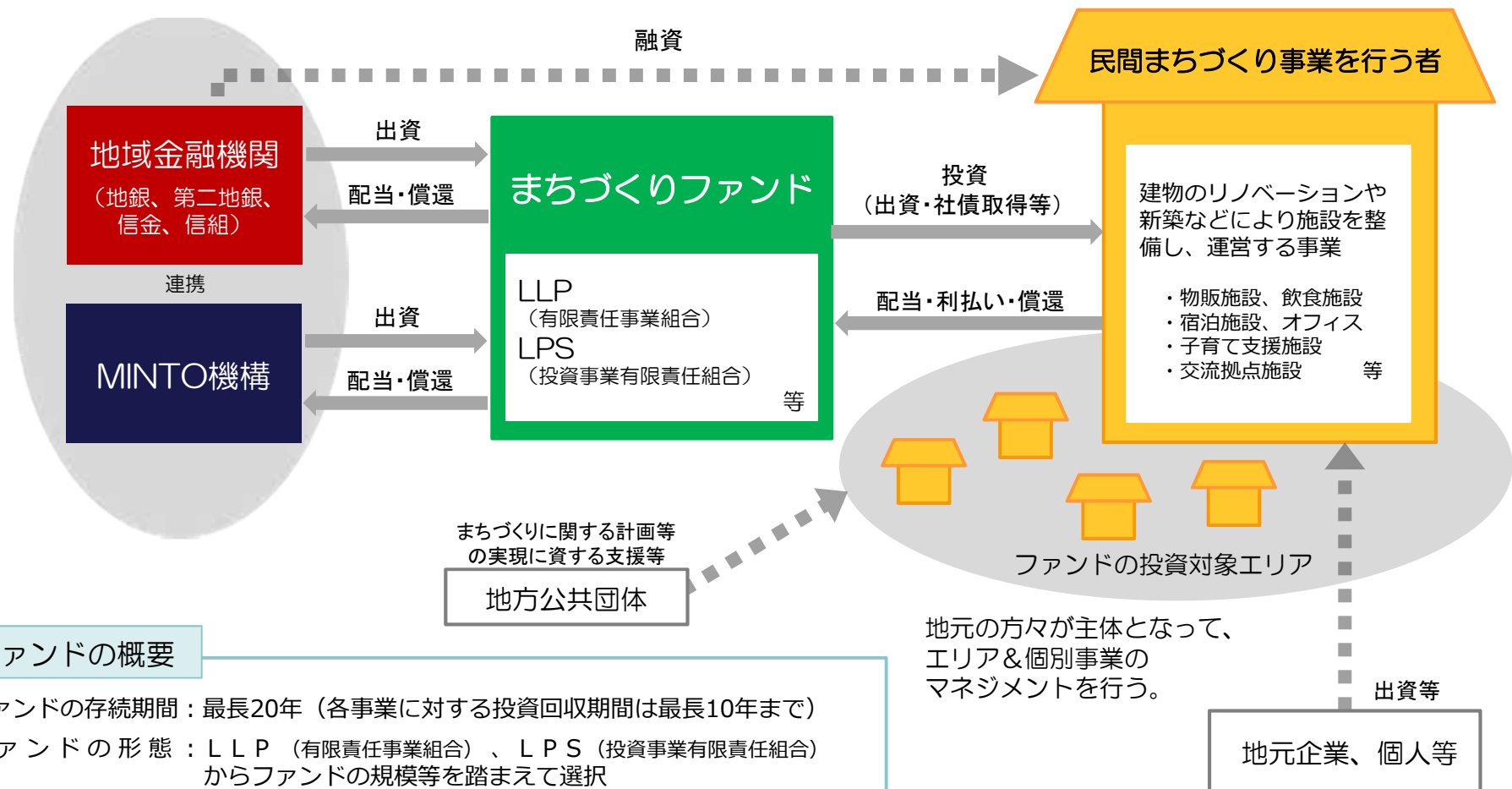
FAX：03-5253-1589

マネジメント型まちづくりファンド支援業務について

資料1

地域金融機関と民都機構が連携して「まちづくりファンド」を組成し、当該ファンドからの投資（出資・社債取得等）を通じて、民間事業者によるまちづくり事業を一定のエリアにおいて連鎖的に進めることで、当該エリアの価値向上を図りつつ、地域の課題解決に貢献します。

マネジメント型まちづくりファンド支援業務のスキーム図



ファンドの概要

- ファンドの存続期間：最長20年（各事業に対する投資回収期間は最長10年まで）
- ファンドの形態：LLP（有限責任事業組合）、LPS（投資事業有限責任組合）からファンドの規模等を踏まえて選択
- ファンドの資金規模：数千万円～数億円を想定
- 民都機構の出資上限：ファンド総額の1/2を上限とする。

長門湯本温泉まちづくりファンド投資有限責任組合

山口銀行は、長門市との間で「地方創生に係る包括連携協定」を締結。同社グループで「長門湯本温泉事業者オーディション」を企画・運営するなど、長門湯本温泉観光まちづくりの推進に積極的に取り組んでいる。当ファンドはこれらの活動と連携し、民間まちづくり事業を支援する。

※長門湯本温泉事業者オーディション：
地方創生コンサルタント業務を行うYMFG ZONEプランニングが企画・運営。「癒やされ方改革」のコンセプトの下、長門湯本温泉エリアで新たな事業展開の意欲を持つ事業者を募り、協力者のアドバイスを受けながら、各自の事業プランのブラッシュアップを図り、事業化を目指していくもの。

- ファンド総額： 10,000万円
(山口銀行：4,900万円、山口キャピタル：100万円、民都機構：5,000万円)
- 対象エリア： 湯本地区、^{もんぜん}門前地区、^{そのせ}三ノ瀬地区からなる長門湯本温泉エリア
- 地域の課題： かつては情緒ある温泉街が広がり、商店での買い物やまち歩きを楽しむ観光客も多かったが、商店の数も減少し、現在では閑散とした温泉街となっている。
- 対象事業： 入浴施設、宿泊施設、飲食施設、物販施設等を整備・運営することで、新たな魅力を創出し観光客の満足度を向上させるなどして、地域の課題解決に資する民間まちづくり事業

【イメージ】



【スキーム】

